

## 『記録遺産』の定義について（詳細版）（仮訳）

### 凡例

- ・原文において、大文字で開始している用語は固有名詞と整理し、人名以外は原則として「」でとじている。
- ・原文において、太字、斜体で表現されているものは、訳文でも太字、斜体で表現している。
- ・原文の（ ）は訳文でも（ ）としている。
- ・読みやすさを優先し、必要と考えた場合には意識している。また、明らかに原文にない語句を補って訳出した箇所や、原語を示した場所は、〔 〕で示している。

**記録物**とは、アナログ又はデジタルによる、情報コンテンツとそれら情報を記録する媒体によって構成される実物資料ものです。保存可能であり、通常、移動可能です。内容は記号や符号（文章など）、画像（静止画又は動画）、音声などで構成され、複製や〔媒体〕変換しうるものです。媒体は、審美的、文化的、技術的な質において重要とされる場合もあります。内容と媒体の関係性は、その構造上書くことのできないものとされる場合から、二次的なものとされる場合まで、多岐にわたります。

記録物は、意図的な知的行為の結果であり、様々な形態があります。

**テキスト文書**には、（あらゆる年代の）写本〔や手稿〕、書籍、新聞、ポスター、書簡、ビジネス記録、コンピュータファイルなどがあります。テキストによる内容は、インク、鉛筆、塗料、値〔デジタル〕、またはその他の溶剤やメディアで記録されます。媒体は、紙、プラスチック、パピルス、羊皮紙、椰子の葉、樹皮、石、布、ハードディスク、データテープ、その他多くのものがあります。

**非テキスト文書**とは、絵画、地図、楽譜、図面、印刷物、図表、グラフなどです。記録するための手段や媒体は、〔テキスト文書と〕同様に様々です。

**視聴覚記録**は、音声ディスク、磁気テープ、フィルム、写真などが含まれ、アナログ形式又はデジタル形式を問わず、どのように記録されたか、またどのような形式であるかは問いません。物理的な媒体は、紙や、プラスチックやセルロイド、セラック、金属、その他の素材など、様々な形態の場合があります。

ウェブサイトなど、**仮想空間にある記録物**は、単一又は複数のコンピュータ上の様々なソースからのデータを寄せ集めたものであったり、あるいは単一のデバイス上にある1つ又は複数のデータ媒体からのデータの集合であったりします。

**記録遺産**とは、そうしたかけがえのない記録物—あるいは記録物群—で構成され、コミュニティや文化、国、又は人類全般にとって重要かつ不朽の価値を持ち、その劣化や損失が甚大な〔文化的〕貧困を招くものを言います。

**記録遺産**とは、「世界の記憶」が使用している総称で、あらゆる種類の**単体**としての記録物、または論理的かつ首尾一貫した**集合**として形成された多くの記録物（例えばコレクション、所蔵資料、アーカイブズの記録群など）を指します。資料群の量は重要ではなく、何がその資料群をひとまとめにしているのか、ということです。コレクションとは、特定の状況、理由、または目的（例えば、主題、特性、出所、または歴史的関係）によって集められた個々の記録物の、完結した集合です。アーカイブズにおける**記録群**とは、個人や組織が通常の活動の過程で作成又は収受され将来のために保存されたもので、管理上の文脈や記録と記録の関係が保存された状態にある記録群全体を言います。**所蔵資料**とは、定義されたコレクションや記録の集まり、あるいはより大きなグループのことです。コレクション、記録群、所蔵資料は、時間の経過とともに、様々な理由で、同国内や国をまたがった複数の機関に別々に保存されている場合があります。

「世界の記憶」では、記録物は、情報コンテンツとそれら情報を記録する媒体という2つの構成要素または側面を持つものと定義しています。両者はともに非常に多様であり、登録された記録物の文脈において、様々な程度の重要性を持つ場合があります。

一般的に、伝統的な（アナログの）テキスト形式の記録物では、内容と媒体が一体となっており、これが通常オリジナルとみなされます。このような記録物の重要性は、媒体が特定の性質をもっていること（例えば、装飾付きの写本や、特別な紙に記録された写真）や、その記録物を取りまく状況との関連性（例えば、有名な作曲家が書いた楽譜や、著名な人物が編集したり所有したりしているコレクション）に負うところが大きいでしょう。

〔一方で、〕機械可読又は再現性のある記録物、つまりアナログ形式の写真を除く全ての視聴覚記録、および全てのデジタル形式の記録物の場合、媒体の形式は、情報を物理的に格納するために必要であっても、「世界の記憶」の文脈ではあまり重要ではないか、あるいは全く重要ではないこともあります。というのも、デジタル情報や視聴覚情報は、一般的に、あるストレージの基盤や媒体から次の媒体へと〔媒体〕変換することによって〔その内容が〕保存されるからです。しかし、必ずしもそうとは限りません。コンテンツが保存されている特定の媒体が、当該記録物の登録の理由になる場合もあります（例えば、フォトグラムやパンチカードの最も古いデータなど）。また、映画フィルムには、媒体に特別な重要性を与える特性（旧式の色刷など）があるかもしれません。

(ver. 01\_20210922)